市営住宅入居者募集

新鯵潟・菱潟・鷲ノ木に新築

申し込みは三月末日まで

昭和三十六年度事業として鯵潟、菱潟、鷲ノ木に建築された市営住宅の入居者を募集しますから入居ご希望の方は、次の方法によつて申し込んで下さい。

入居資格

1　現在同居し、または同居しようとする親族（内縁関係と婚姻予約者を含む）があること。

2　過去一年間の収入を、所得税法の所得計算の例によつて、算定した所得金額の十二分の一の額から、扶養親族一人について、一、〇〇〇円を控除した額が、次の範囲内であることが必要です。

イ　第一種住宅については一五、〇〇〇円から三二、〇〇〇円以下のもの

ロ　第二種住宅については一六、〇〇〇円以下のもの

3　現在住宅がなくてこまつていることが、明らかな者

申し込みの方法

1　入居申込書に、次の書類を添付して下さい。

イ　申込人や親族が過去一年間（昭和三十六年一月一日から十二月三十一日迄）に得た収入に対する給与支払者、または、事業主の証明書

ロ　同居しようとする者が、他の市町村に住所のあるときは、住民簿の抄本

2　申込用紙は、市役所市民課、庄瀬と鷲巻の各駐在室に、ありますからもらつて下さい。

3　申し込みの場所

市役所市民課に、団地名を明記して、直接または、郵便で申し込んで下さい。

4　申込期限

昭和三十七年三月三十一日正午まで、市役所市民課に到達したものをもつて有効とします。

選考の方法

1　入居申込者が、戸数をこえるときは、次の方法によつて入居者を選考します。

イ　入居基準または、市営住宅管理条例の規定によつて、住宅の困窮度の高い者から入居者を決定します。

ロ　困窮順位の定め難いものについては、公開抽せんによつて入居者を決定します。

2　入居者の選考は、新鯵潟菱潟、鷲ノ木それぞれの団地別に選考または、抽せんとします。

入居の時期

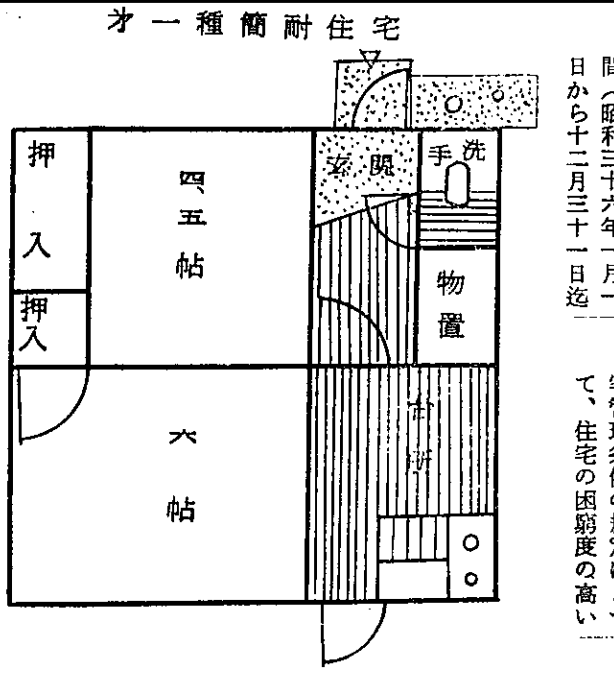
新鯵潟団地　昭和三十七年五月下旬の予定

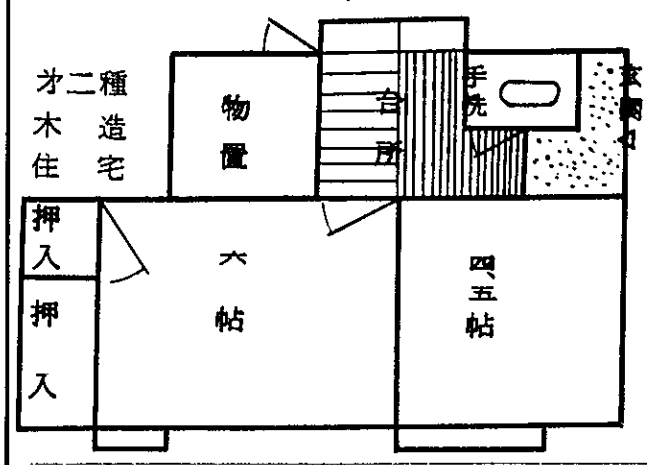
菱潟および鷲ノ木団地　昭和三十七年四月下旬の予定

敷金の徴収

入居の決定通知を受けた者は、さだめられた期日までに家賃の三月分に相当する額を敷金として納付しなければなりません。

◉その他詳細については、福祉事務所厚生係に照会されたい。





保険料前納のおすすめ

＝国民年金＝

保険料の納入方法は、印紙による方法を原則として、毎月かけ金とか、年四回のかけ金とか、それぞれ被保険者のつごうのよい時期にすることになつていますが、そのほかに、年に一回収入のある農家や、経済的にゆとりがあつて毎月かけ金するのがめんどうだというひとびとのために、前払いの方法をもうけています。

前払いには、印紙による前払いと、現金による前払いとがあります。いずれの場合でも、一年分以上前払いすると年五分五厘の割合で、かけ金が割りびかれます。ですから一年分ですと、年に一、二〇〇円のかけ金が一、一、八〇〇円に、一、七〇〇円が一、七六〇円になります。それだけでは、たいして安くなつたという感じはでて来ませんが、一〇年分になりますと一二、〇〇〇円が九、三一〇円に、一八、〇〇〇円が、一三、九七〇円というように、約二割二分四厘も安くなります。

更に二〇才から六〇才までのかけ金を月々おさめることにして計算すると、六三、〇〇〇円になりますがこれを全部前払いすると二三、五四〇円となり、じつに六割三分ちかくもわり安になります。

複利計算で有利

このように、かけ金の前払いは、前払いの期間が長ければ長いほど、複利計算で有利になりますので、できるかぎり六〇才までの全期間を前払いすることが有利でもあり、手続きも一回だけでおわり、あとは年金のくるのを待つばかりということになります。

ところで、かけ金の前払いには、印紙と現金との二つがあるといいましたが、印紙による前払いは、一冊の国民年金手帳の有効期間の範囲内ということになりますので、五年以内に限られ、五年以上の場合は、現金前納といい、納付書により、指定された銀行に払いこむことになつています。

納入方法は、いづれの場合でも、国民年金手帳と保険料をご持参になれば、簡単に手続きが済まされますし、特に印紙前納の場合はその場で、手帳に検認印（受領印）をしてお返しします。

なお、保険料を前払いして万一途中で死んだというような不幸がおきた場合は、死亡一時金のほかに、未経過期間の保険料にあたる額が返還されることになります。

また、前払いした被保険者が途中で会社につとめることになつて、厚生年金の加入者になつたため、それから先は国民年金からはづれるというような場合も、同様未経過期間の保険料は返還され、会社につとめるまでの国民年金保険料は、厚生年金保険料に通算され、有利な年金がもらうことになります。

このように保険料の前払いは、被保険者にとつて、極めて、有利な方法で計算されますので、今後のかけ金の際充分検討いただきたいとおもいます。詳細は市民課年金係におたずね下さい。

市営住宅の面積と家賃

種別	建設場所	団地名	戸数	構造	床面積	家賃月額
					㎡	円
第一種	大字鯵潟73	新鯵潟	4	簡易耐火平家建	34.7	2,500
第二種	同上	同上	6	木造平家建	29.7	2,000
〃	大字菱潟新田288	菱潟	6	木造平家建	29.7	2,000
〃	大字鷲ノ木新田1035	鷲ノ木	4	木造平家建	29.7	2,000

六百十七万円の損害

＝昨年中の火災で＝

交通問題は今や大きな社会問題となつており、政府でもこのことに関心をもつて対策を急いでいるようです。毎日の新聞や、ラジオ、テレビに報道されているとおり、多くの交通事故が起き、尊い人命が失われ、またたくさんの負傷者を出しております。

昨年中の交通事故による死亡者を全国的にみると約一二、八〇〇名で、この数字は今から六〇余年前の日清戦争の時の戦死者の数を遥かに越えているといわれております。このことからみても交通事故による犠牲者がいかに大きな比重を占めているかが知られます。

これらの事故の中には、酒飲み運転によるものが大きいといわれます。

このような酒による交通事故をなくするためには

○　酒を飲んだら絶対にハンドルをもたない

○　運転しての出先では酒を飲まない

○　雇用者は、運転している時には酒を飲ませない

○　業者は運転してきた時には酒を出さない

ことをかたく守つて、事故防止に協力方要望しています。

（白根警察署）

飲酒運転は絶対止めよう

春さきは火事が多い！

これは統計によつてあきらかです。白根市でも昨年一年間にボヤも入れて二十件の火事がおきており、損害は六一七万七千円にのぼつております。（白根市消防団本部調べ）

これが全部不注意による失火ということになつております。お互いのちよつとした注意で、これらの火事は防ぐことができるのです。

火事は国家の損失

サギも盗難も株の失敗も個人の被害としては大きいが、国の財産を失なつたことになりません。

火事を出すことは、社会悪の最大なものといわねばなりません。

火事の原因

◉外出に着てゆくために、大急ぎでアイロンを使つた、時間におくれるとワクワクしながら飛び出したため、スイッチを切り忘れた……電気アイロンからの出火は案外多いが、そのほか電気ゴタツ、電気コンロやストーブなど、電化ブームの影響で電気器具の取扱い不注意による火事が非常に多い

◉寝床の中で一ぷくやつて、そのまゝ寝てしまつた。自分では吸がらをよくもみ消したつもりだつたが、夜中に煙にむせて目をさましたら部屋の中が火の海となつていた。

◉車庫で自動車にガソリンを入れている。二、三米さきでタバコのマッチをすつたためガソリンに引火した。ガソリンコンロに火をつけたまま油をついだら引火した。

◉風が強い、今日は風呂はやめようか、今までだつてこのくらいの風の時、なんども沸かしたが何んでもなかつた。今日に限つてあぶないこともないだろう、と思つて風呂を沸かしたらエントツから火の粉が飛んで火事になつた。

◉そのほか春先に多い育すう（雛）器用ガスコンロの加熱灰の不始まつや、子供の火あそびなども油断がならない。

火事を出した者は、自分の不注意と思われたくないから、すぐ漏電を持ち出す傾向が多いのですが、取り灰の不始末から、実に三十時間もたつて火事になつた例もあります。

またエントツでも七時間後風呂場でも五時間後に火事になつたような例がたくさんあります。

火事の多いといわれる春さきは、とくに火のもとにしたいものです。

（白根消防団）

固定資産台帳の縦覧
1日から20日まで

昭和三十七年度の固定資産税のもとになる、固定資産課税台帳を、次によつて関係者の縦覧に供します。

なお、昭和三十六年度中に移動のない場合は、前年のとおりです。

縦覧期間　三月一日より三月二十日まで毎日

縦覧時間　午前八時三十分より午后五時まで

縦覧場所　白根市役所（税務課）

ねずみくじの賞品引換えは十五日迄に

さる一月三十一日に抽せんをした、白根市発行（県抽せん券裏番号）のねずみくじの当せん券をお持ちの方は、各駐在室（白根地区は公益質屋）へ抽せん券を持参のうえ至急申し出て下さい。

三月十五までに連絡のない場合は、当せん者不明として処理いたします。

図書館だより

十二月十五日より二月十五日まで購入新刊図書

・挿絵の技法　中根敏　・新しい人体デッサンの技法　中根孝之助　・新しいスケッチの技法　中根孝之助　・新しい漫画の技法　中根孝之助　・江戸川乱歩　・獣の戯れ　由紀夫　・台湾に関する一〇一題　中華民国行政院新聞局　・処女峰　富田常雄　・蜘蛛の村にて　水上勉　・戦国若衆　南条範夫　・山本有三集　山本有三　・京の禅寺　芳賀幸四郎　・虹之介乱れ刃　南条範夫　・尺八乞食　山手樹一郎　・日本酒物語　二戸優秋　・極楽一丁目　山手樹一郎　・淀どの日記　井上靖　・わるいやつら　松本清張　・家庭の事情　源氏鶏太　・棺の花　水上勉　・江戸の人　蜘手逢治　・きつね美女　山手樹一郎　・腕一本の春　山手樹一郎　・海の芽　水上勉　・日本の地理　第四巻　岩波書店　・世界大百科事典一七　下中邦彦　・世界大百科事典　一六　下中邦彦　・クオヴアデイ　山口年臣訳　・森鷗外集　森鷗外　・私本太平記　吉川英治